

(参考資料としての利用に限る)

Microsoft IIS 7.x CSR ファイル作成方法

1. はじめに

Microsoft IIS Ver.7.x 環境下での、**CSR** 作成手順を以下に説明します。 大まかな手順は、以下のとおりです。

- (1) CSR を作成する。
- (2) CSR をジェイサートにお送りいただく。
- 2. CSR 作成
- 2.1 サーバ証明書を選択

 ${ | スタート] \to { | コントロールパネル] \to { | 管理 | -ル] \to { | インターネットインフォメーションサー$ ビスマネージャ] の順にアクセスします。

		🐌 Windows Server バックアップ
		<u>圖 같은 분</u> 기
		📬 インターネット インフォメーション サービス (IS) マネージャ
🌉 サーバー マネージャ		
コマンド プロンプト	× ×	
	crosstrust	ショービス マーシューテル株式
	0,000,000	□ システム(Hellow) → セキュリティが強化された Windows ファイアウォール
	ドキュメント	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
● ● コンピュータの簡単操作センター		
	ק-בשעב	🔄 データソース (ODBC)
	ネットワーク	💽 メモリ診断ツール
		🚡 ローカル セキュリティ ポリシー
	コントロール パネル	🖙 記憶域エクスプローラ
ſ	答理のこれ。	4 共有と記憶域の管理
	647 // ·	「 「
	ヘルプとサポート	
	コックルタカ地学して実行	
		_
	Windows セキュリティ	
• 9×(0)70974		
検索の開始	0 🔒 🕨	
【 】スタート 🔒 📰 🏉 📗		



以下の画面が開きますので、【サーバ証明書】をダブルクリックします。

🎙 インターネット インフォメーション サー	ビス (IIS) マネージャ
S I WIN-CGASMEVN	I3VH ▶
ファイル(E) 表示(V) ヘルプ(<u>H</u>)	
接続 ・ 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	WIN-CGASMEVN グループ化:領域
	105
	レーバー証明 書 ディレクトリの参 ハンド

2.2 証明書要求の作成

右側の操作メニューの【証明書の要求の作成】をクリックします。





2.3 識別名プロパティ
 CSR の設定情報を入力します。

2.3.1 使用できる文字

CSR 生成情報入力に使用できる文字には、以下の制限があります。これを守らないと、CSR が生成できません。 入力は、全て半角で行います。なお、コモンネームには以下の「英字」「数字」および「-(ハイフン)」のみが利用できます。

字種	使用できる範囲
英字、数字	大文字 A~Z 小文字 a~z 0~9
記号 スペース	'(アポストロフィ) - (ハイフン) , (カンマ) = (イコール) / (スラッ
	シュ) ()(括弧) .(ピリオド) :(コロン) 半角スペース

2.3.2 入力する項目

以下の項目を入力してください。

項目名	意味と入力できる値	入力例
一般	申請するサーバ証明書のコモンネーム(一般名)を入力します。	sample.jcert.co.jp
組織	申請組織の名称を入力します。	JCert, Inc.
組織単位	申請組織の部署名等を入力します。(任意)	System Administration
市区町村	申請組織の本店所在地の市区町村を入力します。	Chiyoda-ku
都道府県	申請組織の本店所在地の都道府県を入力します。	Токуо
	国名を示す英字2文字を選択します。	
国/地域	国名に対応した入力文字は、ISO CODE で決まっております。	JP
	日本の場合 JP になります。	

	定します。都道府県および市区町村に関する情報は、公式な いでください。	なものを指定してく
一般名(<u>M</u>):	sample.jcert.co.jp	
組織(_):	JCert, Inc.	
組織単位 (OU)(<u>U</u>):	System Administra	
市区町村(山)	Chiyoda-ku	
都道府県(S):	Tokyo	
国/地域(<u>R</u>):	JP	•



2.4 暗号化サービス プロバイダのプロパティ

暗号化サービス プロバイダは「Microsoft RSA Schannel Cryptographic Provider」のまま、ビット長を選 択します。 注: <u>ビット長には **2048bit** をご選択ください</u>。

証明書の要求	? ×
暗号化サービス プロバイダのプロパティ	
暗号化サービス フロバイダおよびビット長を指定します。暗号化キーのビット長は、証明書の暗号化の強度 を決定します。ビット長が大きいほどセキュリティは高くなりますが、 パフォーマンスが低下する可能性がありま す。	
暗号化サービス プロバイダ(<u>S</u>):	
Microsoft RSA SChannel Cryptographic Provider	
ビット長(B): 2048 🔽	
前に 戻る(P)	セル

2.5 ファイル名

以下の画面が開きますので、CSR のファイル名を決め保存先を指定し、【終了】をクリックします。

証明書の要求	? ×
ファイル名	
証明書の要求のファイル名を指定してください。この情報は署名のために証明機関に送信される可能性が あります。 証明書の要求ファイル名を指定してください(R): C:¥certreq.txt	
_ 前に戻る(P) 次へ(N) 【 読了(P) キャンセ	214

以上で CSR の作成は完了です。



3. CSR を送付

完成した CSR ファイルをテキストエディタで開き、「ジェイストア」申請画面にコピー&ペーストしてください。

以下に、CSR ファイルを開いた例を示します。

-----BEGIN CERTIFICATE REQUEST-----

MIIByTCCATICAQAwgYgxCzAJBgNVBAYTAkpQMQ4wDAYDVQQIEwVUb2t5bzETMBEG A1UEBxMKQ2hpeW9kYS1rdTEaMBgGA1UEChMRQ29tb2RvIEphcGFuIEluYy4xFzAV RFi8OQRtKDSGL9mqC4FLk/cAxcNs4X+yzUNp9jn9IldCGEtTg4aRIBFKpWTobwh6 m0jpoMYpQ8DNwO0vpjAGruzQ/ARdw/xaLmQyqaU= -----END CERTIFICATE REQUEST-----

注: -----BEGIN CERTIFICATE REQUEST----- から -----END CERTIFICATE REQUEST----- までを<mark>ハイフン</mark> を含めて、「ジェイストア」申請画面に貼り付けてください。 1 文字でも欠けますと、CSR ファイルフォ ーマットエラーとなり、サーバ証明書のお申込を受付できません。

4. CSR 作成後のご注意

サーバ証明書のインストールが完了するまでは、証明書の要求を削除しないでください。サーバ証明書 と秘密鍵はペアですので、一方が失われると動作しません。この場合、再度 CSR 作成をしていただくこ とになります。

この文書に記載されている情報は予告なしに変更されることがあります。この文書に記載されている情報に従ってユーザーが操作を行った結果、ユーザーが被る損害については、ジェイサートでは一切責任を負いません。ユーザーは自己責任においてのみ、この文書を使用するものとします。